

2019 子宮頸がん予防啓発プロジェクト 趣意書

近年子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因であることが周知され、検診によって予防できるがんと言われています。しかし、日本では子宮頸がん検診受診率は他の先進諸国に比べて約35%と極めて低率です。特にこれから子どもを産む若い世代（20～30歳代）に子宮頸がんが急増しているにもかかわらず、その検診受診率が約5%と低いことは深刻な問題です。

私たち細胞検査士は、日ごろ顕微鏡でがん細胞を発見するという第一線の現場で働いています。全国組織の日本臨床細胞学会細胞検査士会では、子宮頸がん検診の細胞検査を担当する職能団体として、2009年より認定NPO法人子宮頸がんを考える市民の会と協力し、子宮頸がん検診受診率の向上を図る目的で啓発活動を展開しています。

そこで長野県でも子宮頸がんについてより正しく知ってもらい、気軽に検診を受けていただけるようにとの思いから、長野県細胞検査士会が中心となり、賛同してくださる団体や個人の方々と協力して2011年より子宮頸がん予防啓発イベントを毎年開催しています。今年は9月1日(日)に長野市若里市民文化ホールにて第9回「愛は子宮を救うin長野」が開催されます。男女年齢問わず全ての方々を対象としていますが、特に検診を受けていただきたい若い人たちに興味を持ってもらえるような音楽、ダンス、ネイル、マッサージ、スタンプラリー、飲食コーナーなどを中心とし、子宮頸がんについての啓発（講演、パネルディスカッション、クイズ、啓発パネル展示、相談コーナーなど）も行い、気軽に無理なく参加できる情報提供の場となっています。

また、このような啓発活動は継続性も重要と考えていますので、イベント開催のみでなく年間を通じた活動も行っており、子宮頸がん予防啓発プロジェクトとして位置付けております。どうかこの活動内容にご理解をいただき、ご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年4月1日

長野県細胞検査士会会長 小林 幸弘

「愛は子宮を救うin長野」実行委員会

実行委員長：中村恵美子

JA長野厚生連南長野医療センター
篠ノ井総合病院 臨床検査科

TEL: 026-292-2261

FAX: 026-293-0025

E-mail : e_hanamame@yahoo.co.jp

渉外担当：荻野智由

長野赤十字病院 病理部

TEL: 026-226-4131

FAX: 026-226-4690

E-mail : ogino-tom@nagano-med.jrc.or.jp